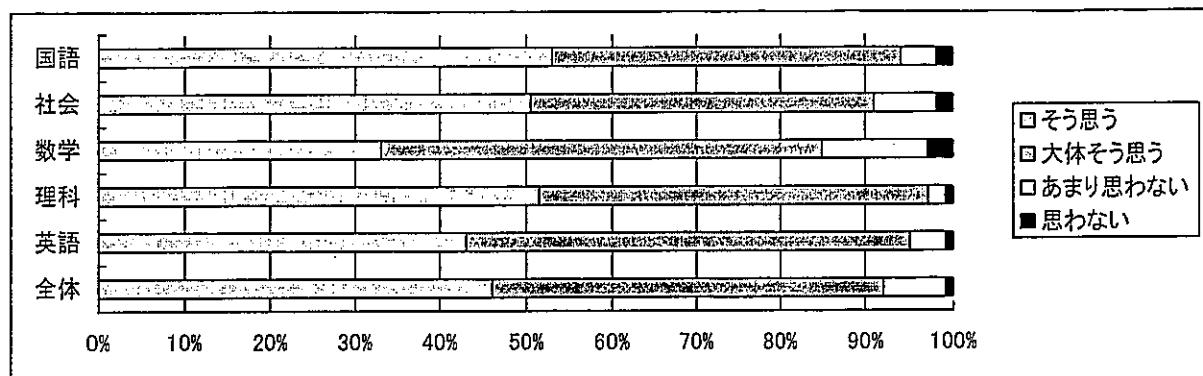


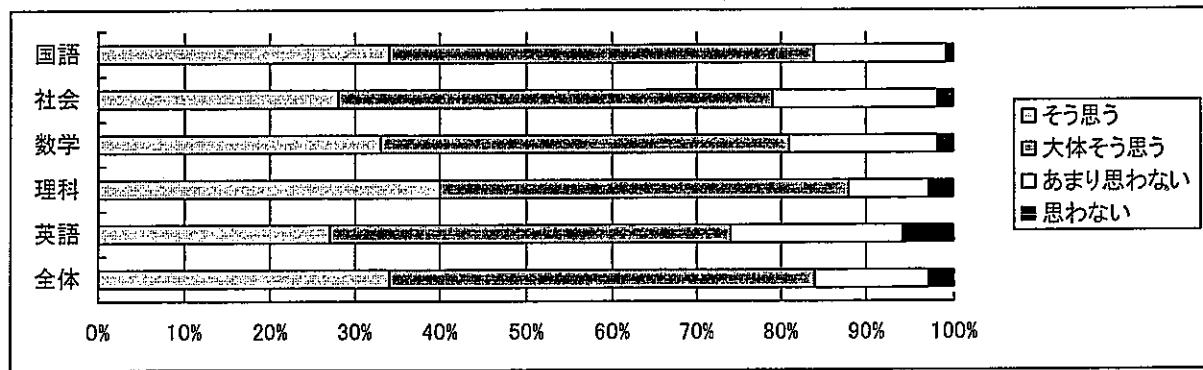
E 中学校 生徒による授業評価

資料	1	1
----	---	---

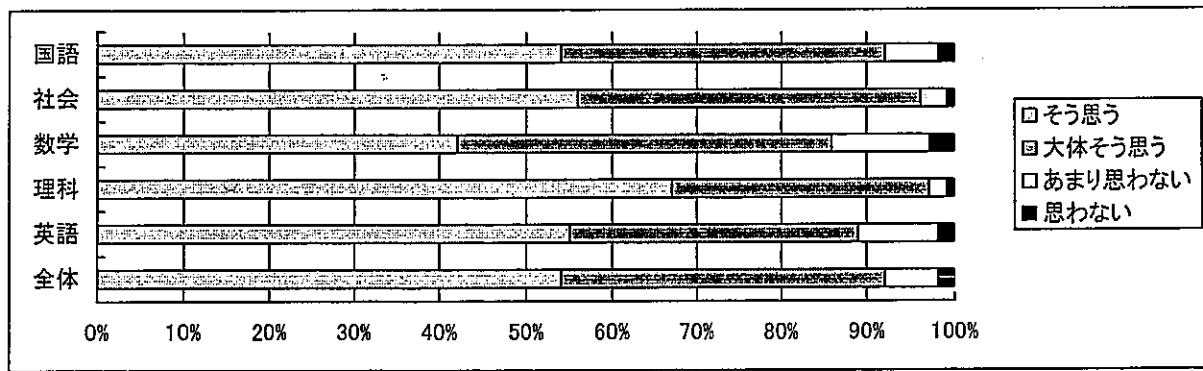
問1 授業の始め、終わりが正確である。



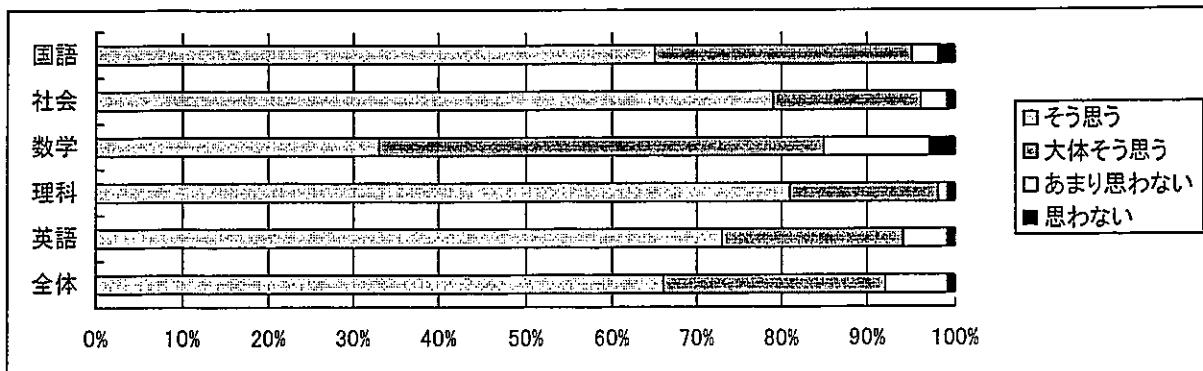
問2 授業の始めに今日の授業の目標やねらいが示されている。



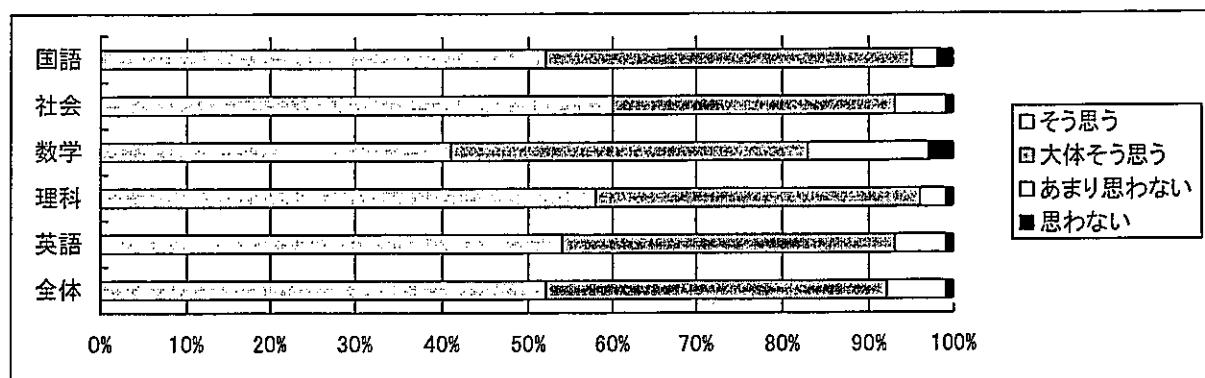
問3 授業を進める速さはちょうどよい。



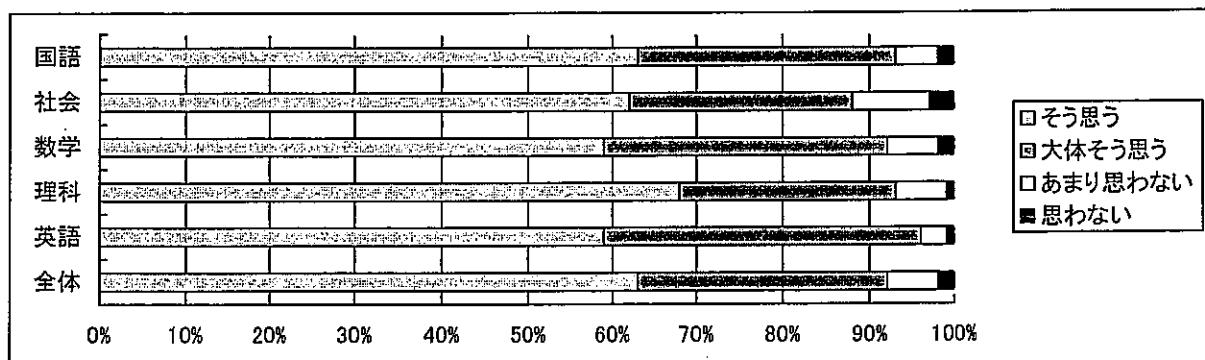
問4 先生の話す声の大きさや話しのスピードはちょうどよい。



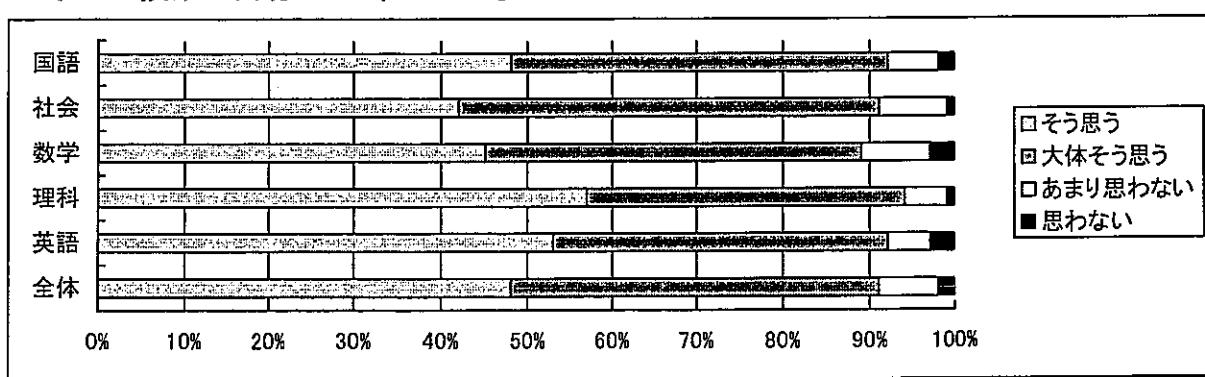
問5 質問や説明はわかりやすくていいねいた。



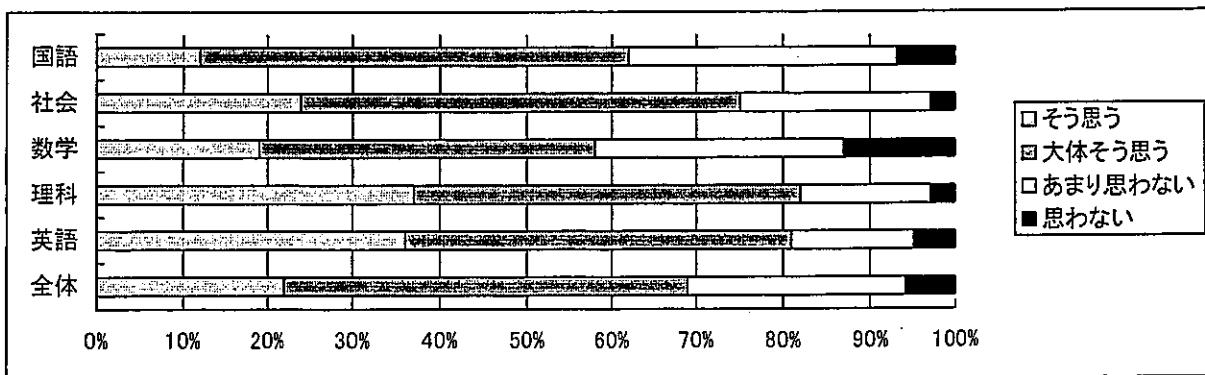
問6 黒板にはわかりやすい字で、ていねいに書かれている。



問7 今日の授業の内容はよくわかった。



問8 次の授業が楽しみである。



平成15年度小・中学校教育課程 実施状況調査の結果について

前回（旧指導要領下で平成十三年度に実施）と同一の問題（全問題数の約三割）の通過率で比較すると、中一社会及び中一数学を除いた他の教科学年において、前回を有意に上回る問題数

二 調査結果の概要と 特徴

図1 前回調査との同一問題における通過率の比較

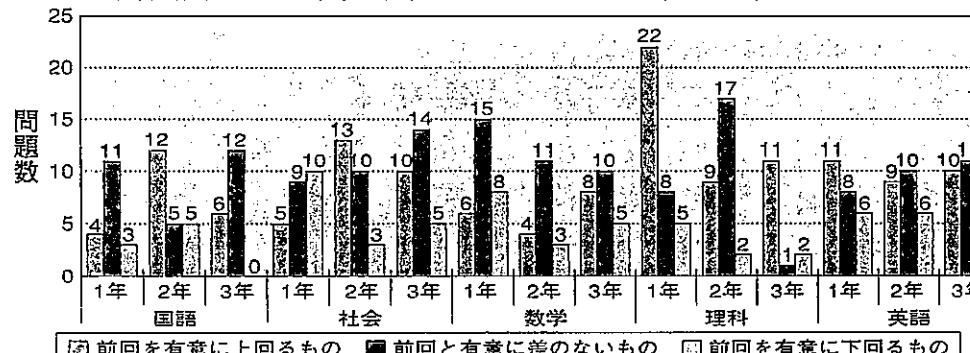
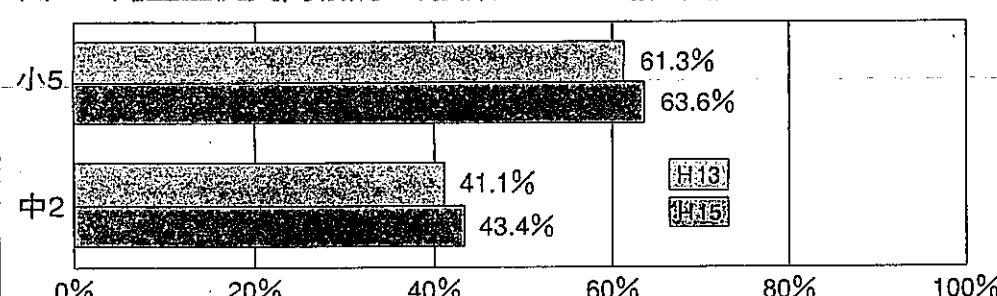


図2 各教科の課題と改善の方向

今回の調査における課題	改善の方向
<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じて立場を明らかにし自分の考えを書くこと 筆者の表現の方法や工夫を評価すること 条件や目的に応じ、自分の考えを相手に伝えること 	<p>現実の場面に即した言語活動と自分の考え方を書くこと</p> <p>言語活動の充美度を高めること</p> <p>自分の立場や資料に基づいて自分の考え方を書くこと</p> <p>自分の意見に偏りがちである言語活動の充美度を高めること</p> <p>目的や相手の立場に応じて自分の考え方を相手に伝えること</p> <p>自分の意見をよりよく伝える言語活動の充美度を高めること</p>
<ul style="list-style-type: none"> 統計資料の読み取り・活用や自分の考え方の表現 歴史の流れや基本的な歴史的事象の理解・政治・経済の基本的概念の理解 世界的視野からみた日本の自然環境の理解 	<p>自己主張などによる自分の意見をよりよく表現する言語の充美度</p> <p>時代の特色や基本的な方針の理解を深める言語の充美度</p> <p>政治・経済などの基本的事象についての言語の充美度</p> <p>地域性や世界性等を活用して理解を深める言語の充美度</p>
<ul style="list-style-type: none"> 計算・数量関係の意味を理解すること 数学的に解釈したり、自分の考え方や推論の過程を数学的に表現すること 日常の事象と算数・数学とを関連づけること 	<p>自己主張によりて自分の意見や数量の意味を実際の場面に沿ひながら理解する言語の充美度</p> <p>量の関係や図形の性質などを元気に見出したところを根拠として表現する言語の充美度</p> <p>日常生活や学習的にどうやって計算や算数が使われるかを理解する言語の充美度</p>
<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験を通じた科学的な思考・グラフの作成等の観察・実験に関する技能・表現 学習内容相互の関連付けを図った理解 	<p>自分の主張や仮説と実験の結果を比較しながら認められる充美度</p> <p>グラフの作成する目的や意義を明確にして、その結果や規則性などを記述する充美度</p> <p>既習内容や他教科との関連を図り理解を深める言語の充美度</p>
<ul style="list-style-type: none"> 話しかけに対して意味をどうえて応答すること 情報を探査したり、対話の流れを理解して読むこと 与えられたトピックについて内容を考え、まとまつた英語で表現すること 	<p>自分の主張や仮説を聞いて受け取る言語の充美度</p> <p>自分の情報を探査したり、相手や人物の立場を整理していく内容を正確に理解する言語の充美度</p> <p>大きな話題を学び、自分がどう思っているかを丁寧に活動続けて表現する言語の充美度</p>

図3 児童生徒質問紙調査「授業がわかる」前回調査との比較



げ一週間前から毎日近所の神社にお参りしていたこと。種子島と東京と、物理的な距離は離れていても、お互いに気持ちは一つだった。「もんじゅ」もH-IIAロケットも、多くの人たちが支えているビッグサイエンス。エネルギーの、そして宇宙開発の明るい未来へ向け、事故のないよう、心を一つにして私も祈つていきた。願いはきっと、通じるはず。（Y.T.）

良く分かった。彼らは最先端の巨大科学技術を担っているのに、最後は科学的根拠に拠らない神頼み、というこのギャップ。ここに科学技術の人間臭さがあるのではないか。人間臭くて結構。科学技術は無機質な物体が扱っているのではなく、生身の人間が扱っているもの。人間がしっかりしなければ、科学技術もしつかりしないのではない。口ケット打上げの後日談とか。口ケット打上げの後日談として、我が省の某幹部も、打上

一 調査の概要

国立教育政策研究所において、小・中学校の学習指導要領に照らした学習の状況を把握し、今後の教育課程や指導方法等の改善に資するために実施した平成十五年度教育課程実施状況調査の調査結果が四月二十一日に公表された。

文部科字稿

文部科学省大臣官房
東京都千代田区丸の内
2の5の1(〒100-8959)
電話 (03)5253-4111

お 願 い

- 本紙は回観あるいは掲示板にはなるなど御覧多くて、ください。
- 本紙は毎号じて保存してくとさうとい。
- 記載した以外の転載は御自由に、その一部を、廣文部科学省大臣認定、監修団體広報委員会まで御連付ください。

主な内容

平成十六年度日本語指導が必要な外国人児童生徒の受け入れ状況等に等に関する調査
平成十六年度教科用図書検定結果公表
第三期科学技術基本計画の重要な政策
(中間とりまとめ)について

他の教科年において、設定通過率と同程度以上の問題数が全体の問題数の半数以上となつた。

しかしながら、記述式の問題を取り上げてみると、小六・中一・中二の国語、中一の数学、中一・中二の英語において、設定通過率と同程度以上の問題数が全体の問題数の半数未満となつており、記述式の問題に課題がみられた。この点も含め、各教科

(二) 質問紙調査の結果

「勉強は大切だ」「勉強が好きだ」と回答した児童生徒の割合は、前回調査と比べ増加傾向がみられた。

また、授業の理解についての状況も、「授業がよく分かる」「だいたい分かる」の合計が、小学校で約六割、中学校で約四

アテストの結果の関係をみると、当該教科の「勉強が好き」、あるいは、「勉強を大切と思う」というは、児童生徒や「学校に行く前に朝食をとる」などの基本的な生活習慣が身に付いている児童生徒については、ペーパーテストで得点が高い傾向がみられた。

なお高等学校について年十一月に教育委員会・学校の協力を得て、現行指導要領下の高等学校教育課程実施状況調査が実施される予定となっております。

参考 本調査の詳細な結果については研究所のホームページ(http://www.nier.go.jp/katei/hatsu/katei_h15/index.htm)に掲載われています。

増加傾向がみられた。(図3)
平日における学校の授業以外の学習時間については、全く、または、ほとんど勉強しない児童生徒の割合は、前回調査と比べ、減少傾向がみられた。

程の基準の見直しに当たつての検討の資料とするほか、都道府県教育委員会等に送付するとともに、ホームページへの掲載、指導主事会議等での周知を通じて、各学校における指導の改善を

通志

D 小学校 保護者による学校評価

評価

- D→そうは思わない
C→あまり思わない
B→大体そう思う
A→そう思う

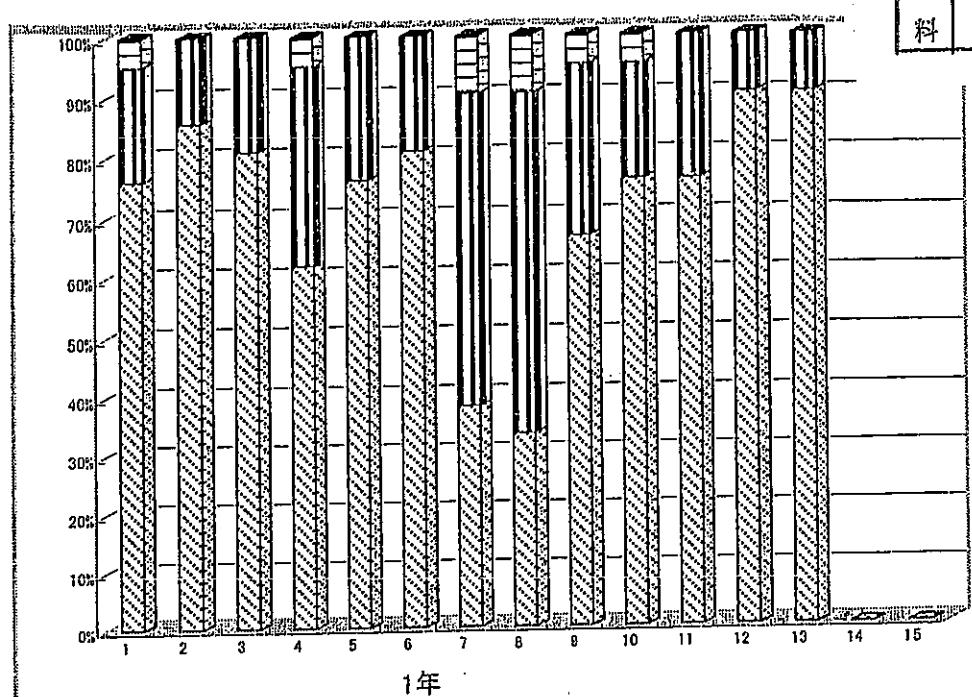
グラフ摘要

未提出 提出なし その他 その他の意見 D そうは思わない C あまり思わない B 大体そう思う A そう思う

分類	項目	評価の観点、場面など	評価
1 教育活動全般にかかわること	①学校だよりや学級通信は、文書の内容がわかりやすく親しみやすい。 ②学校はわが子の提出物を、ていねいにみてくれる。 ③わが子は、いきいきと学校生活をおくっている。	学校より発行される各種プリントにおいて、紙面は見やすく工夫され、発行回数や内容は適切か。 生活ノートや作品などへのコメントの有無。作品展示の方法は適切か。 ご覧いただいた参観日や行事のときに、積極的に活動に参加していたか。	
2 基礎学力の定着など各教科の授業にかかわること	④わが子は、学習内容を理解しようと意欲的に学習に参加している。 ⑤職員は基礎学力を高めるために、授業や指導の工夫をしている。 ⑥職員はわが子の学力や努力を適切に評価している。	授業は楽しくわかりやすく工夫されているか。 手作りや最新の教材を用意し授業にとりこんでいるか。 学習カードへのコメントの有無。通知票への評価や所見は適切か。	
3 生徒指導やその他の教育活動にかかわること	⑦児童生徒たちは地域の方にあいさつができる。 ⑧児童生徒たちは集団生活に必要な約束やきまりを守って生活している。 ⑨児童生徒たちは課外活動や児童会・生徒会活動に積極的に参加しようとしている。	登下校、参観日、行事など学校で児童生徒に会ったときをみて。 身なり、服装、登下校時間、交通ルールなどをとおして。 クラブ活動。文化祭。対外試合、休日練習の参加。	
4 保護者、地域との連携や職員の態度にかかわること	⑩職員は、礼儀正しく親切で、親しみがもてる。 ⑪わが子の心身の健康について学校に気軽に相談できる。 ⑫本校は開かれた学校づくりをしている。	参観日や行事などで来校したときの対応は、親身で適切であるか。 家庭訪問や個別懇談などで、相談する機会があるか。 学校のようすがわかるような方針が、取られているか。	
5 各学校独自の項目 (1~3 項目程度)			

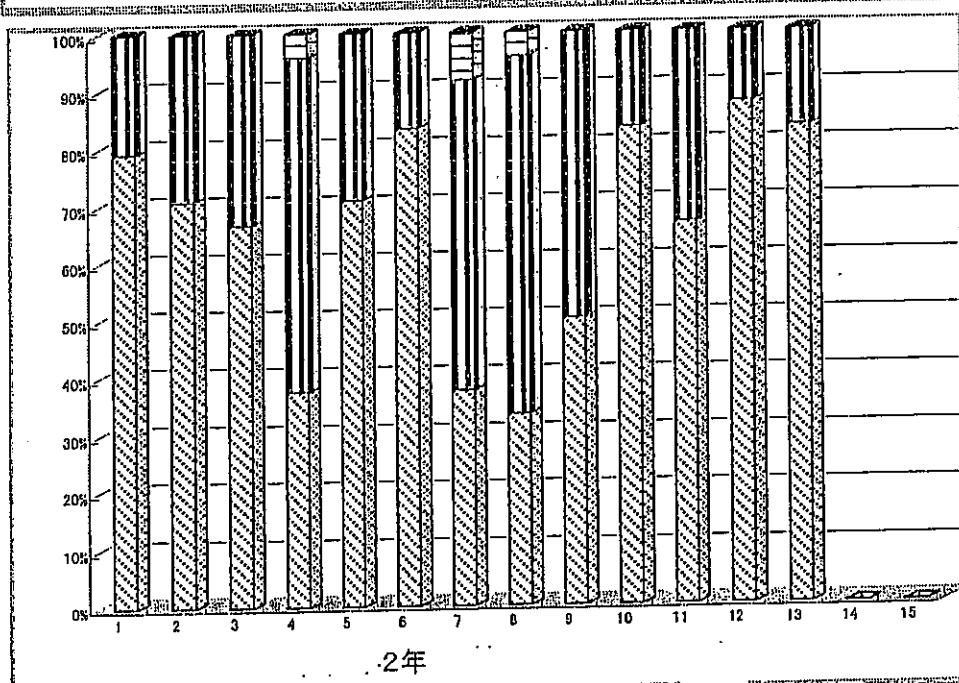
D 小学校

1 年生



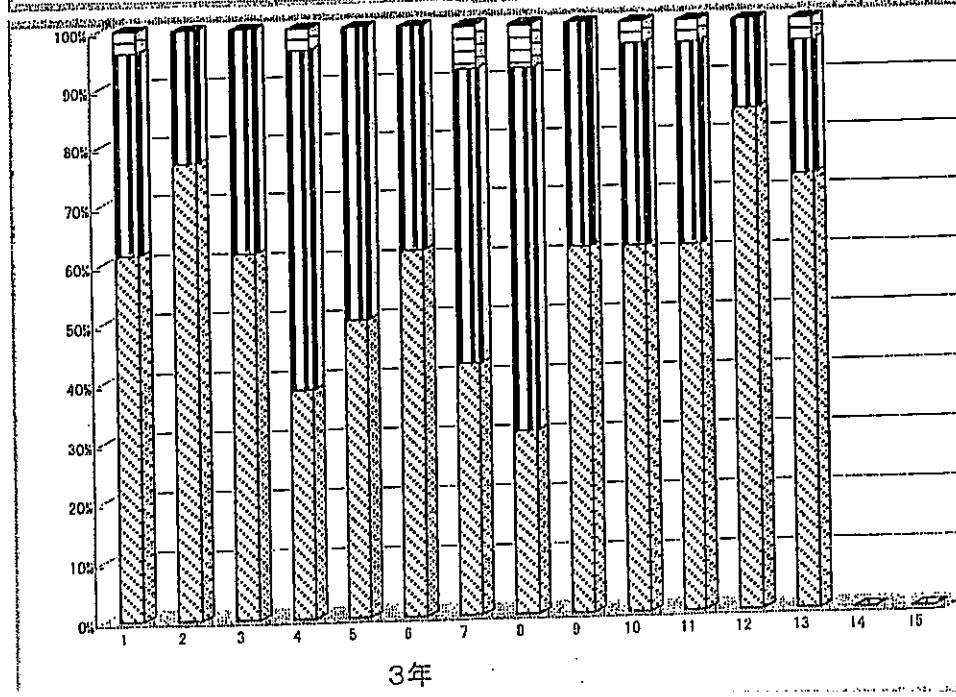
1年

2 年生



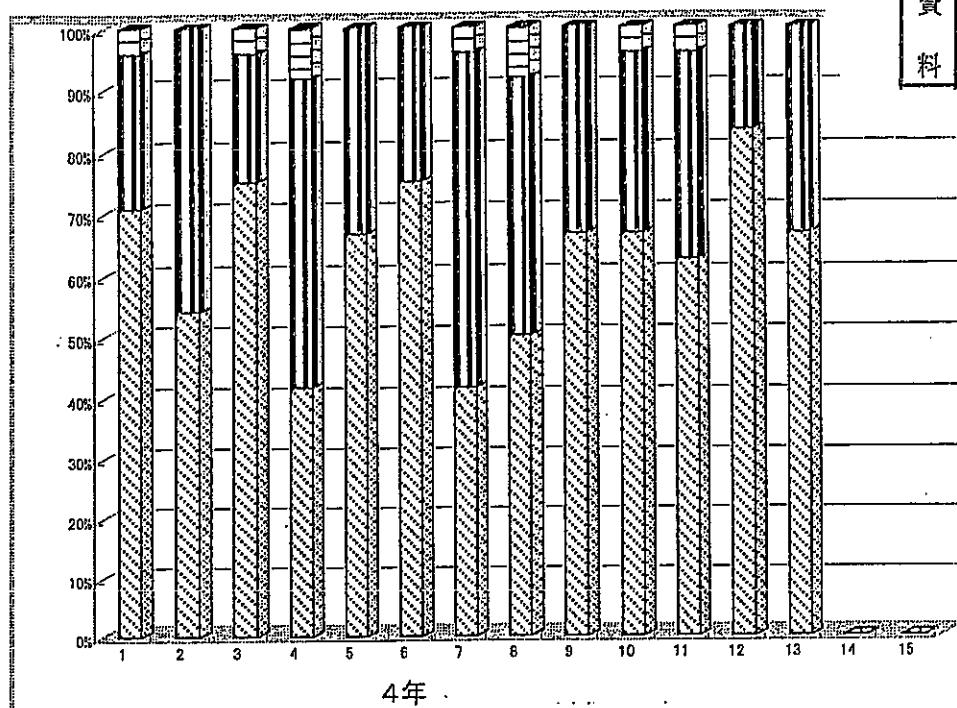
2年

3 年生



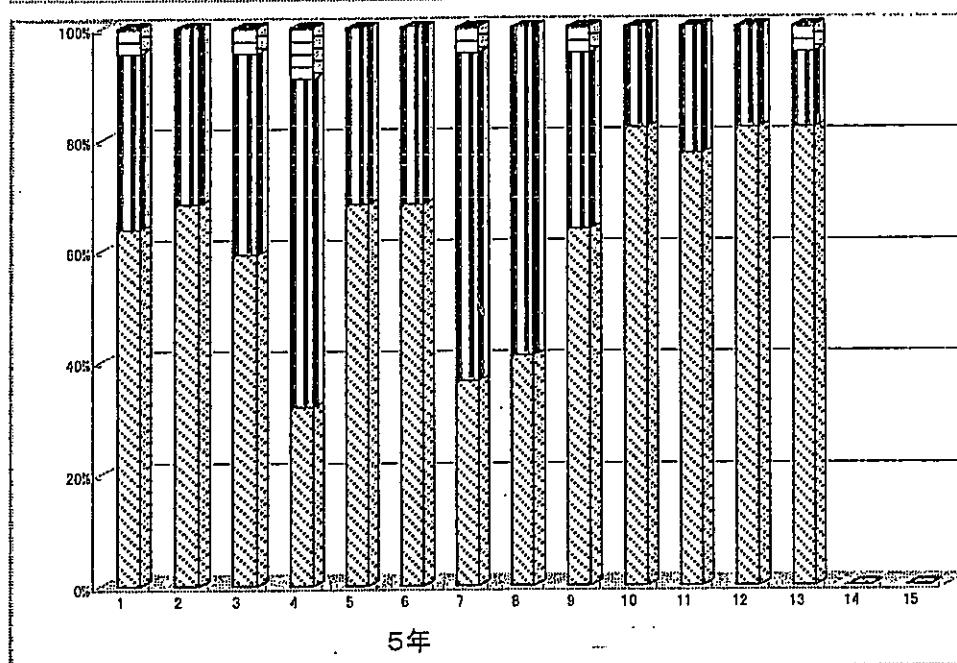
3年

4 年生



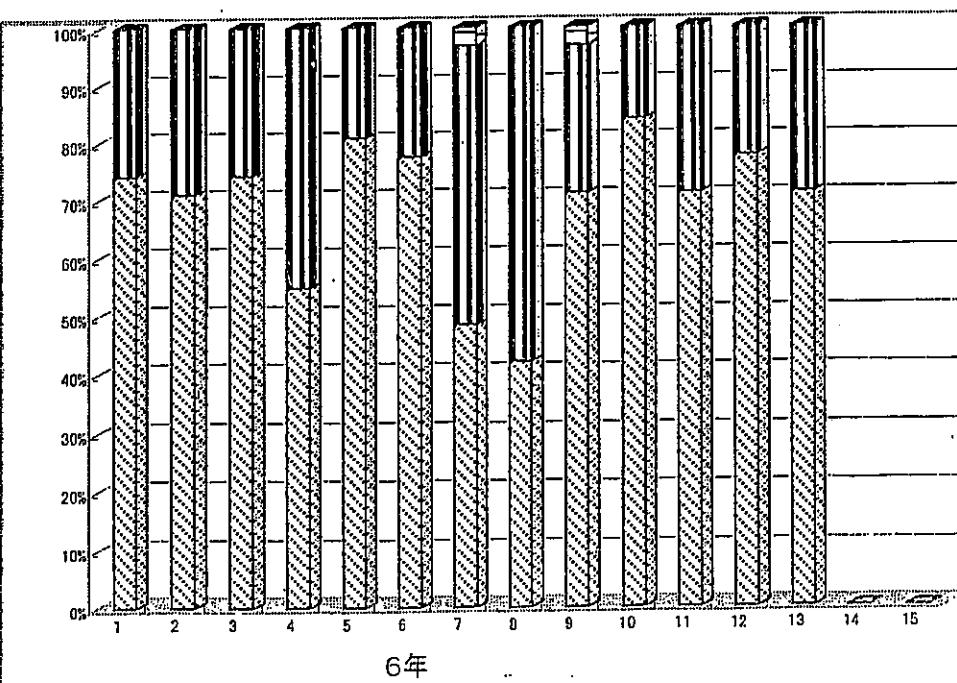
4年

5 年生



5年

6 年生



6年

A 小学校 公開授業一覧表

学年	授業日・授業時間	授業者	区分	学年クラス・教科	研究テーマ	単元名	指導者
一 学 期	6月 30日(水) 時間 10:55～11:40	ア	B	1の2・算数	・基礎学力を高める指導方法の工夫・改善はどうあつたらよいか ～算数の指導を通して～	○「ひきざん1」	佐藤裕章校長先生
	7月 5日(月) 時間 11:45～12:30	イ	B	3の2・総合	・自分の課題を解決するために、資料や情報を選択し、活用できる子どもを育てるためにはどうしたらよいか ～情報活用能力の育成をめざして～	○新聞作りをしよう	丸山教育支援主事先生
	7月 16日(金) 時間 13:55～14:40	ウ	B	6少人数・国語	・意欲的に話したり聞いたりできる指導方法はどうあつたらよいか ～話しやすく・考えを伝えやすい素材を選定して～	○討論会をしよう	清水洋一教頭先生 (和小学校教頭)
	9月 8日(水) 時間 10:55～11:40	エ	B	2の1・国語	・一人ひとりの表現力を高めていくための指導はどうあつたらよいか ～一人ひとりに自信を持たせるための授業のあり方～	○話し方を工夫して発表しよう	佐藤裕章校長先生
	9月 29日(水) 時間 9:40～10:25	オ	B	4の1・理科	・Cと評価される子への指導とその手立てはどうあつたらよいか	○変わり方	佐藤裕章校長先生
	10月 6日(水) 時間 10:55～11:40	カ	B	1の2・国語	・基礎学力を高める指導方法の工夫・改善はどうあつたらよいか ～国語の指導を通して～	○くじらぐも	佐藤裕章校長先生
	10月 8日(金) 時間 10:55～11:40	キ	A	6の2・道徳	・自分の心を見つめることを通して、心豊により良く生きようとする子どもを育てる道徳の指導はどうあつたらよいか	○将来の夢を語り合おう	大塚貢教育長先生 佐藤裕章校長先生
	10月 14日(木) 時間 8:50～9:35	ク	B	5学年・音楽	・児童自らが、堂々と自己表現するための教師の支援はどうあつたらよいか ～モノドラマを通して～	○物語を音楽で表現しよう	杉下 敏先生 (神科小教諭)
	10月 20日(水) 時間 10:55～11:40	ケ	B	松組・総合	・松組児童の理解を図り松組の子どもたちが生き生きと活動できる交流のあり方 はどうあつたらよいか	○オペレッタ(劇)をしよう	佐藤裕章校長先生
	11月 8日(月) 時間 重点研究会より	コ	A	1の1・国語	・一人ひとりに基礎・基本的な力をつけるための支援はどうあつたらよいか	○あるけ あるけ	熊谷教育支援主事先生
二 学 期	11月 8日(月) 時間 重点研究会より	サ	A	4少人数・国語	・子どもが作品を読み深めるための支援はどうあつたらよいか	○物語文「ごんぎつね」	熊谷教育支援主事先生
	11月 8日(月) 時間 重点研究会より	シ	A	5の1・国語	・自分の意見や考えを積極的に発表できる子どもたちを育てる国語学習指導はどうあつたらよいか	○子ども環境会議を開こう	熊谷教育支援主事先生
	11月 26日(金) 時間 重点研究会より	ス	A	2の2・生活	・単元、活動が成立するときの教師の支援、指導はどうあつたらよいか	○大豆を育てよう	丸山教育支援主事先生
	11月 26日(金) 時間 10:55～11:40	セ	A	5の2・総合	・子ども自らが対象と関わり、本気になって取り組める学習はどうあつたらよいか	○古代体験をしよう	丸山教育支援主事先生
	12月 8日(水) 時間 10:55～11:40	ソ	B	4の1・保健	・児童自ら、人体や自分の健康に関して興味、感心を示し具体的な健康作りをおこなうためにはどうあつたらよいか	○石鹼で手を洗う	佐藤裕章校長先生
	12月 9日(木) 時間 10:55～11:40	タ	B	6少人数・国語	・意欲的に話したり聞いたりできる指導方法はどうあつたらよいか ～話したい内容を調べたりまとめたりする活動を通して～	○自分の考えを発信しよう	清水洋一教頭先生 (和小学校教頭)
	1月 25日(火) 時間 13:55～14:40	チ	B	3の1・国語	・基礎学力を保証する授業のあり方はどうあつたらよいか ～わかる・やる気が出る・力がつく授業を目指して～	○もちもちの木	柳町照明先生 (城下小学校教諭)
	1月 26日(水) 時間 11:45～12:30	ツ	B	6少人数・算数	・興味、関心を持つための算数的な活動はどうあつたらよいか	○比とその利用	佐藤裕章校長先生
	2月 9日(水) 時間 10:55～11:40	テ	B	1の2・算数	・基礎学力を高める指導方法の工夫・改善はどうあつたらよいか ～算数の指導を通して～	○「きそがくしゅう」	佐藤裕章校長先生

		学年・クラス	分っている項目	どういう手だてをうつっていくか
話す・聞く能力	2年1組	内容の聞き取り	友達の顔を見て、話を聞くように声をかけていく。時々発言内容についての質問を行い、集中して聞く態度の育成を図る。	
	2年2組	内容の聞き取り	聞きながら入る練習を行なう場面を取り入れていく。	
	3年1組	要旨の聞き取り	普段の授業：教室でのしつけとして、話をしっかりと聞く態度を養う指導の徹底と話し相手を見る態度を養わせる。	
	3年2組	発表するときの注意	発表するときに、ノートに意見をまとめたり、簡単なメモをしたものを見たりして、発表する経験をつかませることを意識することや相手に伝わるように話すなどの指導をする。	
	4年1組	伝える内容を選び出し話す	朝のスピーチでは、一番話したいことの中心をメモさせる。授業中は、自分の考え方や気持ちを話すことに重点を置く。友だちの話を聞いていく中で自分の考えをはつきりさせ相手に伝わる話し方の練習をする。(ペア・グループ・全体)	
	4年2組	内容の聞き取り：伝える内容を選び出す	話を聞く姿勢を作っていく。また、思いついたことを整理して話せるよう自分の考えを書かせて発表させる場面を多く取る。	
	5年1組	発言内容を理解する	・発言する友達の顔を見て、話を聞くように支援していく。・発言内容についての質問を意識的に行い、発言内容に耳を傾かせる。	
	5年2組	まとめの聞き取り	話の中に気をつけて聞くことが課題となる。話す・聞くの単元では、メモをとらせて中心を意識させて聞き取る力をつける。	
書く能力	6年1組	内容の聞き取り	大事な言葉や内容などのメモをしたり相手の意図をつかみながら聞くことができるよう助言する。	
	6年2組	スピーチに大切なこと	発表の際に、発表原稿や簡単なメモを作成し発表する経験を繰りかえさせるようにする。	
	2年1組	句点の付け方・書く材料の選択	教科書の音読は、句読点を意識して読みませていく。友達の日記を紹介し、題材を広めたり五感を使った表現のおもしろさを伝える。・担任から題材を与える場面を取る。	
	2年2組	句読点の付け方	教科書の視写、例文視写を繰り返していく。・日記指導をおこない使い方のチェックをしていく。	
	3年1組	自分の考えを書く	・毎日、日記を書く・作文を書く・感想を書くという時間を設定する。	
	3年2組	記録に書く内容の選択	新聞作りを通して自分の調べたことや、知っていることを選択して書くことを経験させながら、文章を書く力を磨いていく。	
	4年1組	大きな字で書く：文の伝え方を学んでいく	自分の書いた文章をひらがなで、それをもとに順序を考えながら、メモを並び替えて文章に書かせる。	
	4年2組	推敲・文の書き方を考えて書く	新聞記者になろうの單元で、記事を書くときき推敲を取り入れ文を直す活動をし推敲の大切さに気づかせていく。	
読む能力	5年1組	適切な指示語「その」	文章を書くにあたってこの指示語の役割について例文を用意して理解させることに努めるとともに、日常生活での会話中の指示語に着目させて指示語の大切さに気づかせる。	
	5年2組	表現の効果を考えて書く	教科書の文学作品の後ろにある言葉の学習を丁寧に扱い、言葉の扱い方や表現方法を豊かにしていく。	
	6年1組	段落の構成を考えて書く	書きたいことを見つめ、具体的な事実から感じたこと・思ったことなどを書き入れていくように助言していく。	
	6年2組	段落の構成を考えて書く	作文を書くときには、太陽が地上を見下しているように、誰にも逃がすが分かるように順序立てで書くことを最初の指導とする。経験したこと感じたことを混ぜながら書くように助言する。	
	2年1組	内容の読みとり	・少しずつ読みながら難しい言葉を説明しイメージが持てるよう支援していく。・順序・質問・答えといった文の組み立てにも目を向けていく。	
	2年2組	内容の読みとり	・「それ」「これ」などの指示語、「だから」「でも」などの接続語に注意させる。学習プリントを使い少ない量から読み取らせていく。	
	3年1組	適語補充：そして	作文のワーキングなどを使って、言葉の補充をさせたり、言葉を選択させていく。指導をおこなう。	
	3年2組	場面の読みとり	内容を理解できるように、何回も読んだり、キーワードを落とさず読んでいく。	
語彙の解説能力	4年1組	段落まとめ・指示語の内容理解	・段落の中心になる文を題名や前後のつながり、作者や筆者の願いなどを考えながら選ばせる。そこを選んだわけを話し合う。・例文を用いて理解させ文章を書いたり会話したりする時に指示語のさす内容を意識させていく。	
	4年2組	文中の語句の内容理解：語の意味	国語辞典の使い方に慣れられるために、語句調べの場面を取っていく。	
	5年1組	内容を要約する	文章を読みとき、疑問に思う文には赤線を引かせ、自分が大切だと思った文には黒線を引かせる。また、起承転結の構成を常に指導の中に入れていく。	
	5年2組	要約して読み取る：絶対に押さえた読み	授業では、何項何行目のどの文・言葉から読み取ったかなどの發問をして、叙述を大切に扱っていく。	
	6年1組	要約した内容の理解	綴り返し読んだり、大切な言葉だと感じた文に線を引いたりしながら文書理解を深められるようにしていく。	
	6年2組	詳しい内容の読みとり	・文章全部でなくとも、主題に迫る部分の音読に力を入れる時間を持つ。・意味調べをこまめにおこない、内容を理解しながら読み進めていくことを習慣づけていく。	
言語事項の知識能力	2年1組	拗音：漢字	自作の宿題プリントを用意し、児童が愚ねてきたら、黒板に書いて指導する。日頃から字を丁寧に書くよう励ましていく。変換からの言葉の獲得：漢字の変換を図りたい。	
	2年2組	助詞の使い方「へ」「は」	教科書の視写、例文視写を繰り返していく。日記などでこまめに使い方をチェックし間違っていたらなおさせる。	
	3年1組	主語・述語の理解	・文章を読みとき、どれが主語でどれが述語か指摘していく。・文章を書くときに、主語述語に意識を向けて書かせ後で評価する。	
	3年2組	主語・述語の理解	文章を書くときに文がねじれてしまわないよう、どの視点で書こうとしているのか立場をはつきりさせる。	
	4年1組	漢字の送りがな	新出漢字を学習するときに意味を知り、送りがなを意識させる。家庭学習をするときに漢字だけ練習するのではなく、例文として練習させる。	
	4年2組	漢字送りがな、書き方、語句の類別	漢字ドリルを使い、漢字練習を授業の中で扱いながら、語句の意味を取り扱い語彙の幅を広げていく。	
	5年1組	漢字の書き	漢字学習帳を用いて、授業開始10分間4個の漢字を字ぶ。漢字アストを実施し家庭学習の充実を図りたい。	
	5年2組	漢字の書き	半月に一回10問ずつ新出漢字のテストを行い定着を図る。	
	6年1組	漢字の書き	漢字の書き順や練習する時間ができるだけ確保し、アストでできなかつた字だけ再テストをおこない定着させていく。	
	6年2組	漢字の書き	・漢字ドリルを丁寧に扱う。・いろいろな伸びができるようにミニテストを毎日実施し、クラスの半分以上がパーフェクトに書けるまで、綴り返し練習する。	
		クラス	どのような場面で、関心・意欲が感じられないか。	どのような手だてが必要か
関心意欲態度	1年	2年1組	自分の考え方・好みだった内容を発表するとき、自信がないのが消極的である	観点を明らかにして読む。難しい言葉を説明してイメージが持てるよう助言していく。
	2年2組	内容を読み取る場面で、發言する子と考えていそもうない子がいる。	全員で声をそろえて読んだり、グループで考えさせたりして、学習に積極的に関わらせていく。	
	3年1組	発表の場面、ある子が中心に進めてしまったり、発言の機会を奪われてしまったり自分の限界を決めてしまう	・全員が必ず発言させる場面を作る。・発表の役割を与える。	
	3年2組	分かっていても手を挙げられない、消極的。他の人の発言に頼る。	順番に発表するなど発言する場面を多くとり慣れさせていく。・ノートにメモさせたり意見をまとめたりして発表させる。	
	4年1組	自分の意見を言う場面発表者がかたよってしまう。	自分の考えを書くことになれさせる。それと同時に感じる心も育てる。全員に短時間で見えるテーマを伝えさせること。例えば今日の天気を見て、この花を見てなど	
	4年2組	自分の気持ちを書いたり発表する場面で何も思いつかない子が多い。	読みを深めることができだと考え、内容理解をさせるために落ち着いた音読の時間をとる。	
	5年1組	音読・内容を要約する場面	読みむことを増やして、分からぬ言葉の意味を調べたりして、本文の内容理解にむけて結びつけていきたい。	
	5年2組	作文学習やその発表の場面	新鮮な経験や興味深いテーマを用いて、見たことだけでなく多面的に考えさせて書かせる。	
	6年1組	自分の考えを発表する場面で、挙手をする子がかたよる	自分の考え、思ったことをノートに書かせ、全員が発表する場面を作る。	
	6年2組	自分の考え方や感想を述べる場面で、わかっているが挙手することに消極的、誰かに頼っている。	全員発表を取り入れて、言わざるを得ない場面の設定と人前での発表に慣れさせる場面の設定。	

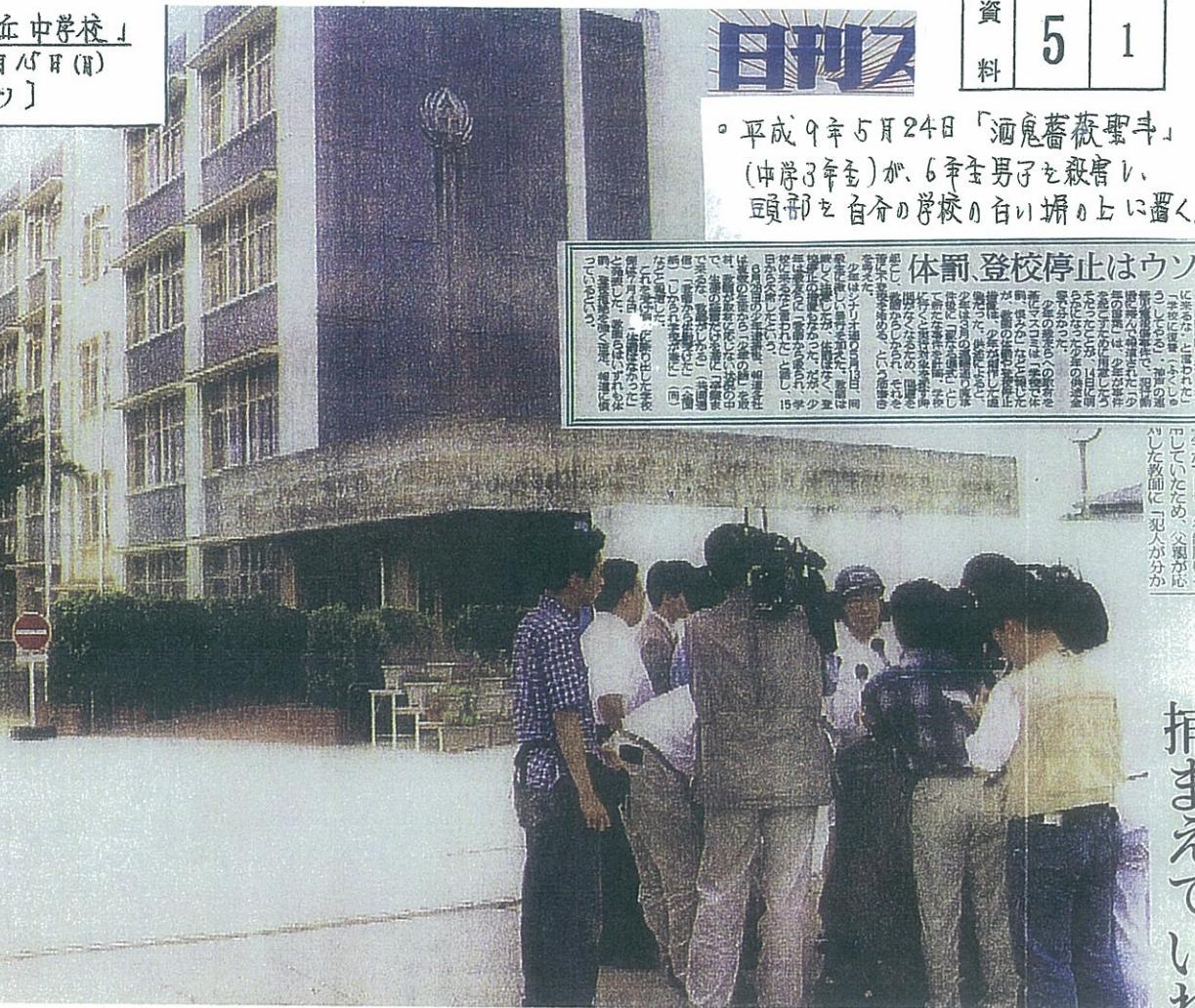
CRT分析表

教科名 算 数

学年・クラス		劣っている項目	どういう手立てをうつしていくか
数学的な考え方	2年1組	序数：後ろから何番目・前に何人目盛り数での長さ比較	具体物を使って体験的な学習を重ねていく。 もとになる目盛りの「いくつ分」かを意識させ、「●●つ分」という言い方や数え方をさせる。
	2年2組	乗法の適用・式	文章問題の状況が理解できるように、確認しながら進める。スマールステップで式を立てていく。声に出して確認していく。
	3年1組	色板を用いた形作り	三角形四角形などの図形について、辺の数などに着目させて形の理解を図り確実に身につけさせるよう指導する。
	3年2組	表の読み取り	問題文に立ち返り何の表なのか、どんな項目が必要なのか、表の中の数字は何を示しているのかを考えさせる。
	4年1組	棒グラフ・除法計算確かめ	・問題文からグラフにどんな項目が必要か、数字が何を示すか考えさせる。 ・計算の確かめを常におこないルールづけていく。
	4年2組	三角定規の角・球の半径と箱の大きさ	・三角形、四角形の角の学習では、4年生で扱った分度器にふれて、三角定規の角度を復習しながら図形を学習していく。 ・文章題をそのまま解くのではなく、絵や図に当てはめて数学的な考えを練らせていく。
	5年1組	2つの数量の関係	問題文を読んで、すぐに立式するのはなく、絵や線分図に置き換えてから考えることを習慣にし数量関係をとらえさせる。
	5年2組	複合図形の面積	图形に線を入れ、知っている图形にすれば、解けるという見通しを持たせ、学習した图形の面積の求め方を確認し、使えるようにしていく。
	6年1組	六角形の内角の和	三角形の内角の和が180度になることを再度指導する。実際にはかったり、切り取ったり折ったりしながら、多角形は対角線でいくつに分かれているか確認しあい、180度×○の理解を図る。
	6年2組		
数量や图形表現に・つ理い解て	2年1組	同じ形の仲間さがし	共通点やルールなどを見つけさせたり、教師側から指導したりしながら類似の問題を繰り返し行う手立てをとる。・形を写したり線を書く作業をおこない正しく丁寧に書くよう励ましていく。
	2年2組	具体物の長さ比較	図だけでなく具体物を使いながら考えさせる。
	3年1組	色板を用いた形作り	映像、図、具体物を使用して、記入したり、色を塗るなどの補助作業をさせていく。
	3年2組	長さを測る	量感を体得させたり定規や物差しを使い身近なものにさせていく。
	4年1組	時計25分後の時刻	普段の生活の中で、時計に親しませる。
	4年2組	加法の筆算・計りの読み	実際の場面で、読み取りを行わせるようにしていく。
	5年1組	除法・3位数÷2位数	小数のわり算では、整数のわり算をもとにして仕組まれているので、4年生の時のわり算を復習し、計算するときには唱えながらさせ習熟させる。
	5年2組	長方形正方形の面積	面積の単位を再確認しながら方眼紙のマス目を数えることをもとにして、面積を求める式が生まれたことにふれてから、四角形の単元に入る。
	6年1組	小数の除法・四捨五入	計算の手順やまりを確認し正しく解けるとともに四捨五入する位に印をつける習慣をつけ繰り返し練習していく。四捨五入の決まりを再確認し覚えさせる。
	6年2組	三角形の面積	四角形の面積の半分であることを、操作活動によって再確認し、底辺×高さ÷2の公式についてしっかりと見直し暗記させる。
数量や图形に知つ識い・て理の解	2年1組	数の合成・分解	計算ドリルをおこないながら、つまづいている部分を指導する。(具体一指一頭)の方向で合成分解を進め定着をはかりたい。
	2年2組	加法を使う問題	文章をよく読んで、何算でやるか考えさせる。
	3年1組	数直線上の数・4位数の構成	板書の工夫、教科書への記入などによって、規則性を見つけさせる。位取りを明確にし、立てにそろえさせる。繰り上がりの意味を教科書の図で確認させる。
	3年2組	数の仕組み	数の大小や2～4位数の構成について、計算したり数えた比べたりする活動を取り入れ身近なものにしていく。
	4年1組	乗法の性質・単位の換算	かけ算の九九は言えても、かけ算の意味が曖昧になっているので日々かけ算と足し算のつながりを確認する。・実際の量や長さなどを体感できることはして、単位どうしの関連をつかませていきたい。
	4年2組	乗法の性質・単位換算・数の大小比較・万の数仕組み	今までの学習を振り返られるよう、授業の始めに復習プリントで学習を積み重ねていく。・実際の長さ、量を体感させるようにし、単位のつながりを知らせる。
	5年1組	単位換算	数で見えるのではなく、図を使って誤解となる単位の理解を図っていきたい。
	5年2組	数直線の読み分数	分数の大きさが、異様ににくいことが原因と考えられるためより大きいか小さいかはつきりさせたり、面積図を用いて確認しながら分数の計算を行う。
	6年1組	平行四辺形の性質	具体的な図を使いながら定義や性質を確認し覚えさせる。
	6年2組	小数と百分率	小数と百分率と歩合の関係を表し(0.1=10% = 1割など)、数多くの問題を解いて無意識にでも変換できるようにする。
クラス		どのような場面で関心・意欲が感じられないか	どのような手立てが必要か
関心意欲態度	2年1組	計算や作業になかなか取りかかれない子がいる。	問題の数を少なめにして、単元の始めでは、理解しているか確かめながら分かるまで繰り返し指導していく。
	2年2組	「どのように考えるか」という場面で、考えていそうもない子がいる。	・グループ個人用のプリントを利用し支援していく。
	3年1組	・計算練習のような、習熟の過程で個人差が出る。	計算の原理を理解できるように、細かく丁寧に指導していく。書かせるだけでなく、そう考えた思考過程を言わせる。代表的な問題1つと発展的な問題1つに絞って取り組ませる。
	3年2組	・早くやろうとしてケアレスミスも出ることがある。	どんな場面かを思い浮かべ、何を求めるか言葉で言わせたり確かめさせたりして解くように指導する。
	4年1組	文章題を解こうとする時立式ができず、ぼんやりする子、すぐあきらめる子がいる。	文章題を扱うときに、話し合う場面では、ペア・グループの学習を取り入れ自分の考えや意見を言ったり質問しやすいような形態をとっていく。
	4年2組	文章題の場面で発言する子が限られてしまう。	分からぬ子、話が聞けなかった子どもたちを黒板の前に集めて、繰り返し指導していく。
	5年1組	計算などのやり方の説明の時話が聞けない子がいる。	全員に具体的に操作できるものを用意し、場合によっては個別に対応するなどして課題を解決させたい。
	5年2組	考え方を話し合う場面で意欲の差が出る。	全員に具体的に操作できるものを用意し、場合によっては個別に対応するなどして課題を解決させたい。
	6年1組	文章題を解く場面	分かっていること、聞かれていることに線を引いたり図や表に表したりして文章を理解できるようにしていく。
	6年2組	文章題をとく場面で粘りのない子がいる。	・いろんなパターンでコツを覚えさせるようにする。・線分図や絵で問題の意図を表現できるように練習する。

神戸市「友が丘中学校」
平成9年9月15日(月)
[日刊スポーツ]

ハム開覧要求したの?...博やも被害者



・平成9年5月24日「酒鬼薔薇聖斗」
(中学生3年生)が、6年生男子を殺害し、
頭部を自分の学校の白い塀の上に置く。

体罰、登校停止はウソ

「酒鬼薔薇聖斗」...
していたため、父親が心
した教師に「犯人が分か

捕まえてし

佐世保市「大久保小学校」
平成16年6月2日(水)
[毎日新聞]

・平成16年6月1日、小学6年生女兒が、
同級生の女児を、休み時間に学習室で、
ナイフで刺殺する。



〔東大寺学園 中・高校〕

2

- ・平成18年6月20日、午前5時15分頃、
高校1年生男子が自宅放火。
- ・母(医師)、弟、妹を焼死させた。
- ・高校1年生であるが、6月のため中学校教育に注目。



〔板橋区立 赤塚第二中学校〕

- 平成17年6月20日 東京都板橋区成増の準大手ゼネコン
佐藤工業とサンリツの共同社員寮管理人の父(44才)、母(42才)
を高校1年生(長男15才)が、銃アレイではなく、包丁で刺殺
し、証拠を隠すため、ガス爆発させた。
- 高校に入学して、6月であり、中学校教育に注目。



〔長崎県 長崎市立 西浦上小学校〕

- 平成15年(2003)7月1日 幼稚園児 稲元駿ちゃん(4才)を、
長崎市築町パークイング場の屋上(20m)から突き落とし、殺害した。
- 犯人は中学生1年生男子、7月であり、小学校教育に注目。



〔岐阜県 中津川市立 中津川第二中学校〕

- 平成18年(2006)4月21日、中津川第二中学校 2年生女子
清水直(すなお)(13才)が、ハロキンド店(あき店)で、絞殺される。
- 犯人は、清水さんと同じ中学卒業生で、高校1年生男子。



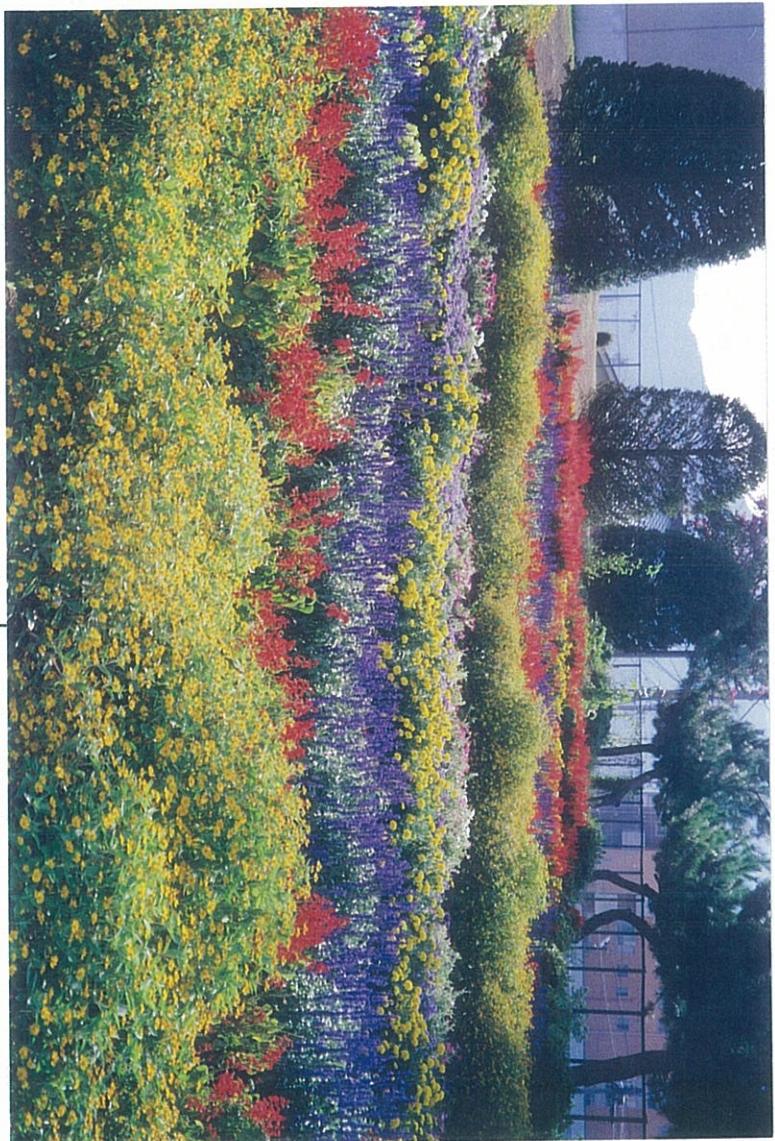
真田町

A 小学校



真田町

B 小学校



真田町

E 中学校

